

第74回高知県中学校総合体育大会 開催方針

今年度の県総体についての考え方

1. 中体連「競技大会（全競技共通）の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」を遵守した上で、県総体を実施する。
競技の特性上、時期を遅らせて別大会と兼ねて開催する競技も認める。
兼大会であっても県総体として表彰（賞状・メダル授与）し、記録を残す。
2. 3年生に活動の成果を発表する場を提供することを優先し、無理のない範囲での開催にするための競技方法・ルールの変更を認める。
例）試合時間、セット数、イニング数、ポイント数の変更。
個人・団体戦のある競技でのどちらかのみ開催。
個人戦において3年生のみの開催等。
3. 競技の特性により、活動制限が解除されない場合には、やむを得ず県総体として実施することができない競技が出てくる場合もある。
4. 競技終了までの県内感染状況に応じて、大会を中止・延期の判断をする場合もある。

（1）上記1の県総体期間（7月末）の開催でない競技部への対応

- ① 県総体の表彰状とメダルは準備する。
兼大会であっても県総体の成績として表彰し、県総体の記録として残す。
- ② 県総体の運営委託金は兼大会であっても県教委から競技団体に入金する。
- ③ 救護役員の依頼は開催時期にバラつきがあるため、担当してくれる養護教諭の承諾を得るまでは競技部で行うこととする。承諾を得た養護教諭の氏名・所属先を県中体連事務局まで報告する（依頼文書発送の関係で開催1ヶ月前まで）。依頼文書は県教委が作成し、所属長・本人宛に発送する。

（2）中体連「競技大会の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」の活用

- ① 「大会参加における感染予防確認申請書」（生徒用、教員・役員用）の提出。
- ② 「体温・体調チェック表」（大会前2週間）の実施。
- ③ 会場に集まる関係者（生徒、教員・役員等）全員が①の申請書を提出する。
また2週間分を記録した②のチェック表を持参（確認用）しておくこと。会場内には2週間の感染対策を実施済の者以外は入場不可とし、保護者や一般の応援も入場不可の「無観客」での開催とする。
- ④ 会場入口に置く手指消毒は中体連で準備する。

（3）会場施設提出用 健康チェック表

使用する会場施設によっては施設に対して参加者全員の健康チェック表の提出を求められることも考えられる。必要な会場を使用する場合には準備・提出する。

（4）宿泊について

感染リスクを抑えることを考え、参加校が宿泊しない大会方式とする。